

広域ごみ処理施設の整備に向けて

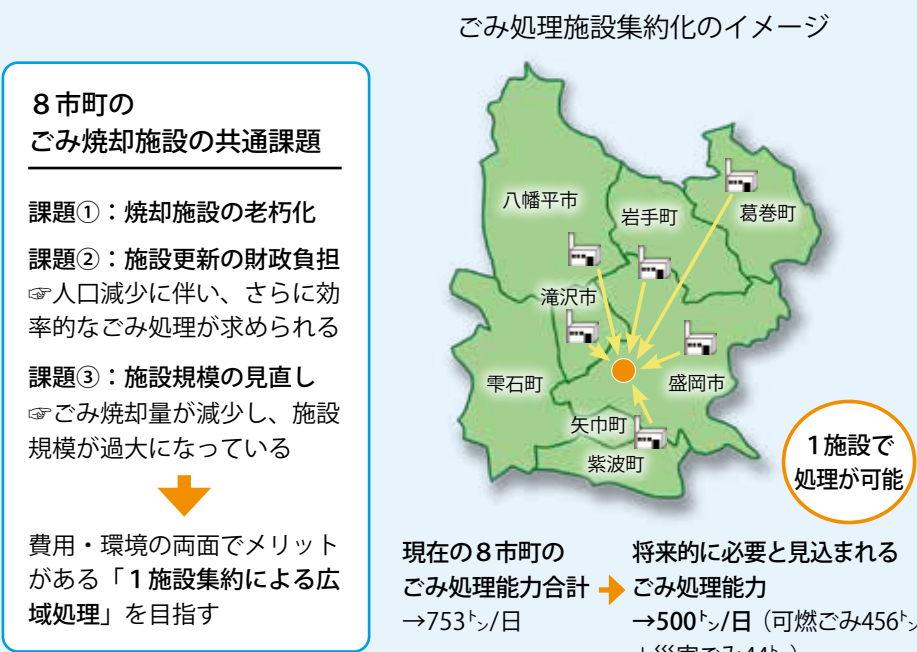
ごみ処理施設の未来を考える

1 ごみ処理広域化とは？

今後、少子高齢化により全国的に人口が減り、各自治体の厳しい財政状況や働き手不足が見込まれる中でも、引き続きごみ処理を続けなければなりません。ごみ処理施設の老朽化や、人口減によるごみの減少に伴う各施設規模の見直しなど、さまざまな課題の解決に向けて「ごみ処理広域化」の取り組みが全国各地で進められています。ごみ処理施設を集約することは、各施設の更新にかかるコストの削減や適正な施設規模への見直し、温室効果ガスの低減などにつながります。

平成29年5月に、盛岡広域8市町は新しいごみ処理施設の整備候補地4カ所を公表し、各整備候補地で住民説明会を開催するなど、地域の皆さんと意見交換を繰り返し行ってきました。令和3年3月には「盛岡インターチェンジ付近」を新たなごみ処理施設の整備予定地として選定しました。現在は、8市町合同の新たなごみ処理組織「(仮称)盛岡広域環境組合」の設立や施設整備に向けた準備を進めています。

盛岡広域8市町（盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）は、令和14年度から、圏域内の6つのごみ処理施設（焼却施設）を1施設に集約するための準備を進めています。この「ごみ処理広域化」により、効率的で、環境負荷の低減が図られたごみ処理を目指しています。「ごみ処理広域化」に向けた、現在の進捗状況などをお知らせします。【問】ごみ処理広域化推進室 ☎613-8146



2 廃棄物エネルギーの利活用

全国のごみ処理施設では、安全にごみを処理した上で、その過程で生じた熱や電気（廃棄物エネルギー）を利活用している例が多くあり、さまざまな地域振興やまちづくりに生かされています。新たな施設整備に向けて、環境対策や廃棄物エネルギーの利活用などについて、地域の皆さんとの話し合いを重ねており、次のような意見が出されています。

子どもたちが、ここに生まれ育って良かったと思えるような施設ができてほしい。

地域に根付くようなデザイン施設にしてほしい。

ごみ処理の技術は信頼している。環境に関しては大丈夫だと思う。

わくわくしたい。例えば、合宿など交流できる施設を造るのはどうか。

懇談会・住民説明会の資料や質疑の概要▶

熱利用の例 神奈川県立相模原公園グリーンハウス

この施設の冷暖房には、隣接する相模原市南清掃工場の熱源が利用されています。千平方メートルを超える熱帯植物温室は、年間を通じて南国の雰囲気味わうことができ、子どもから大人まで楽しめる施設です。

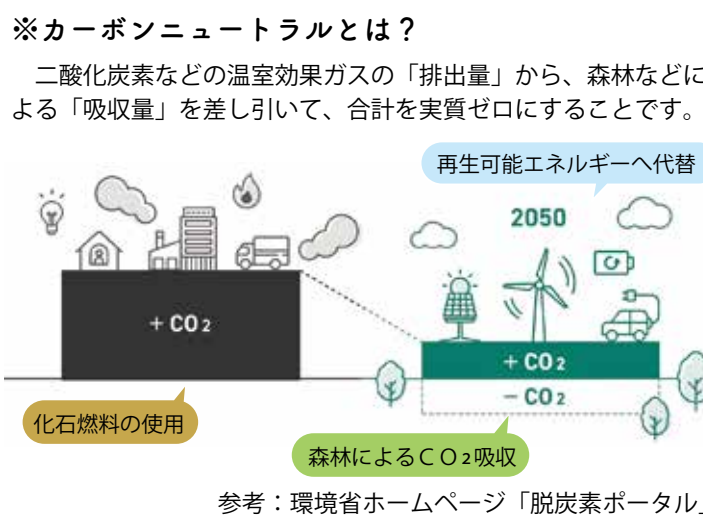
発電の例 東大阪都市清掃施設組合 第五工場

ごみを焼却するときに発生した熱を効率よく回収する高効率発電をしています。環境省の調査では、エネルギー回収率が、平成29年度から3年連続全国1位。発電した電気は、施設内で使用するほか、電気事業者に売却しています。

「2050年カーボンニュートラル」の達成に向けて

令和2年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を国全体としてゼロにする「カーボンニュートラル※」を目指すことを宣言しました。廃棄物分野の温室効果ガス排出量は、令和元年度で国内総排出量の約3%です。割合としては少ないですが、ごみ処理量を少なくするなど、可能なところから、温室効果ガス排出量の削減への取り組みが求められています。

8市町が目指す「ごみ処理広域化」は、ごみ処理施設の規模を適正化し、環境負荷が低減されたごみ処理を目指すものであり、施設の集約化により、温室効果ガス排出の削減が見込まれます。



もりおかエコライフ2021

市環境部ウェブサイト「ecoもりおか」内で「脱炭素とごみ減量・資源再利用」をメインテーマとした動画「もりおかエコライフ2021」を2月28日(月)まで配信しています

みんな見てね

もりおかエコライフ2021はこちら▶



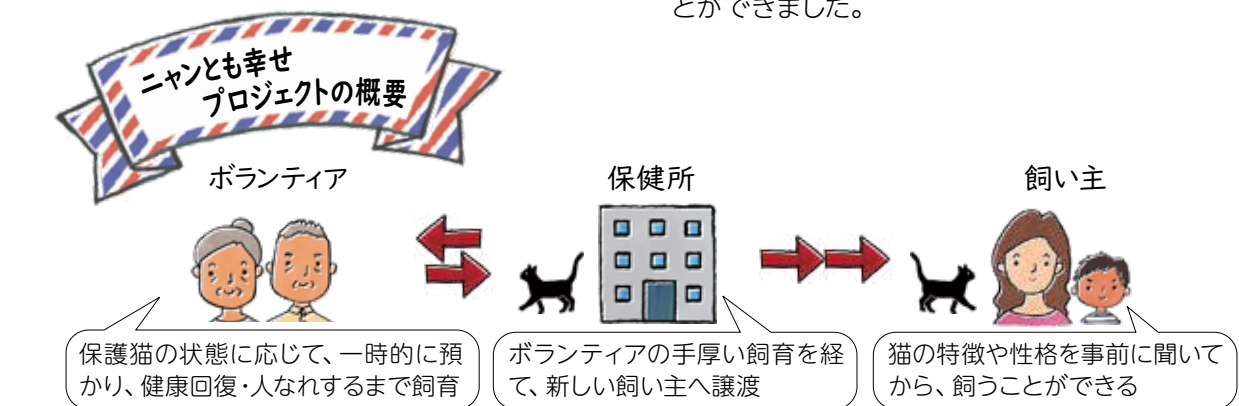
できることから始めませんか

「保護猫」の命をつなぐ

殺処分「ゼロ」を支えるボランティアがいます

けがや病気で弱っていた野良猫、親とはぐれた子猫、不適切な環境で飼育され、増え過ぎた猫が数多く保健所に保護されています。このような猫は人になれていない場合が多く、飼う前に、時間をかけて十分なケアをすることが必要です。

市は、動物愛護団体との協働により、平成29年度から、ボランティアの皆さんが保護猫を一時的に預かり、ケアする事業（ニャンとも幸せプロジェクト）を実施しています。これまでに50人以上のボランティアが参加し、4年間で約300匹の猫を新しい家族に譲渡することができました。



保護猫を預かってみませんか

ボランティア（通称：ニャンともさん）を募集中！

健康状態が悪い猫の看護や、子猫への哺乳、人になれるまでの飼育など、保護猫を譲渡する前のケアに協力してくれる人を募集しています。詳しくは同課にお問い合わせください。

無理なくできる、ニャンともさん活動

- ☞ライフスタイルに合わせて、預かる期間や猫のタイプを選ぶことができます。仕事をしながらや、休日だけの預かりなどもOK
- ☞ケージや餌、医療費などは支給します
- ☞預かり時の不安も電話相談などでサポートします

教えて！ニャンともさんを始めたきっかけ

猫を飼うのは初めてなので、まず猫の生態や飼い方を学びたい

家族みんなで世話をしながら、子どもに命の大切さを感じてほしい

高齢なので、飼うことはできないが、猫の命を救う取り組みに貢献したい

活動について、詳しくはこちら▶

市が保護する猫は、年間約100匹を超えますが、平成29年度以降は殺処分することなく※、新しい飼い主へ譲渡しています。命を大切に、人と動物がより良く共生できる社会を目指して、多くの市民の皆さんが参加する取り組みを紹介します。

※重い病気やけがで回復が難しい場合を除く

【問】生活衛生課 ☎603-8310

保護猫を家族に迎えませんか

保護猫のほとんどが、過酷な環境で暮らしてきた猫たちです。そんな猫たちが安心して暮らせるよう、愛情と責任をもって飼える飼い主を募集しています。

子猫のうちから育てないと、飼い主に懐かないのでは——と不安に思うかもしれませんが、保護猫ならではのメリットもあります。猫を飼いたいと考えているなら、「保護猫」を迎えることを検討してみませんか。

保護猫を選ぶメリット

- ☞大人の猫は体格や性格などがほぼ確立されているため、家族に迎えたときのイメージを持ちやすいです
- ☞保護猫を一時的に預かって一定期間を過ごし、相性や性格を確かめてから飼うこともできます
- ☞飼い方の講習や個別相談のサポート体制があるため、初めて猫を飼う人も安心です

市保健所で募集している保護猫の譲渡情報は、市ホームページをご覧ください。

新しい家族を待ってるよ！

広告

もりおか頑張る飲食店応援事業

プレミアム付き応援チケット

モリオ★エール

チケットの購入・利用が、お店の応援につながります！

- 本事業は、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている「飲食店・宿泊事業者等」の経営継続支援を目的に実施しているものです。
- 新型コロナウイルス感染症の予防、拡大防止に十分ご留意の上、ご利用ください。

（チケットの購入・使用について）

- ▶参加登録店（施設）へ直接お問合せください。（事業内容について）
- ▶盛岡商工会議所 盛岡市飲食店等応援事業係

TEL：019-624-5880 [受付時間 10時～12時、13時～16時（平日のみ）]

問合せ先

最新の参加登録店（施設）・完売情報についてはWEBサイトでご確認ください！

（WEBサイトURL）https://morio-j.com/mp/moriyoell/

チケット販売および有効期間

2021年 12月15日（水）

2022年 2月28日（日）

このポスターが目印！

2,000円

2,500円分（500円券×5枚）利用可能！

500円分お贈り！

※チケットは、参加登録店（施設）でご購入ください。※チケットは、購入した参加登録店（施設）で飲食や宿泊に使用できます。※チケットは参加登録店（施設）ごとに「100セット限定」となります。▶詳しくは、参加登録店（施設）へご確認ください。

モリオ★エール

参加登録店（施設）

買って使って、お店を応援！